



タイ日本語センターの授業風景

ベトナムとタイの
出しました。
ビジネスチャンスを見
本語教育の需要に
く、この地域での日
シア圏の人達が多
働きたいと考えるア
を向けると、日本で
す。一方、海外に目
力が必要となりま
化社会で人手不足と
なり、外国人の労働
が不可欠となりま
す。一方、海外に目
を向けると、日本で
働きたいと考えるア
シア圏の人達が多
く、この地域での日
本語教育の需要にビ
ジネスチャンスを見
出しました。

我が社は、学習塾を中心に教育関連事業を行っています。創業者である立木貞昭会長の「教育を通じて日本だけでなく世界に貢献したい」という強い思いから、外国人に日本語を教える日本語教育事業を立ち上げました。現在、国内に4校（東京3校・京都1校）、ベトナムのホーチミン、タイのチェンマイに各1校開校しています。

教育を通じて世界に貢献

アジアで
ビジネスチャンスをつかむ

京都 クロス **Asia** ✨

京都からアジアに進出し活躍する企業と、アジアビジネス相談デスクアドバイザーからアジア各国を紹介します。

今回は・・・
**アジア進出企業
REPORT**

株式会社 京進
日本語教育事業部長 渡邊 正敏



所在地：京都市下京区烏丸通五条下ル
大阪町382-1
TEL:075-365-1500 (代表)

事業内容：学習塾・教育関連事業

現地学校

ベトナム：ホーチミン市人文社会科学大学内
タイ：ラチャマンガラ工科大学
チェンマイキャンパス内

今後、日本は高齢化社会で人手不足となり、外国人の労働力が不可欠となります。一方、海外に目を向けると、日本で働きたいと考えるアジア圏の人達が多く、この地域での日本語教育の需要にビジネスチャンスを見出しました。

架け橋となる人材を育てたい

日本語センターは、2年前より現地の国立大学の中に事務所を構え、大学と連携して運営しています。この2ヶ国とのきっかけは、1999年から行っているミャンマーでの社会貢献事業からです。我が社は、ミャンマー第2の都市であるマンダレーのデフスクールに寄付をしてきており、その繋がりがベトナムとタイの大学との関わりを持つこととなりました。

将来的には現地の日本語センターが、日本への留学に結び付ける拠点となることを目指しますが、まずは、現地の日本語教育機関としての運営を成功させることを優先しています。海外での事業は、商習慣の違い・規制など様々な問題があり、容易とはいえません。しかし、我々は、日本語教育を通じて日本に対して理解を深めてもらい、両国の架け橋となる人材を育てていきたいと考えています。日本はアジアと交流を深め、一緒に発展していく時代になってきており、教育の分野で我々ができることを行いたいと考えます。

や生活を伝えることも力を入れており、日本文化を学ぶイベントなども開催しています。



タイでの日本文化イベント



●アジアビジネス相談デスクアドバイザー●

MJTビジネスコンサルティング株式会社
代表取締役 **松村 俊治**

現地人材採用時のリスクと対策

現地法人の人事管理業務（人材採用・人事評価・報酬・就業・教育研修等）は、程度の差こそあれ必ず現地特有の業務上のリスクが発生します。特に日本の常識があまり通用しない人材採用では、採用後のリスクが多発し対策が必要です。リスクは主に次の

三つです。①経験・能力不足の社員採用による業務停滞 ②低一定着率 ③経歴詐称者採用による不正発生。これらリスクを可能な限り未然に回避するため、特に幹部社員採用時には①求人要項に具体的業務内容を提示し面接候補者を選別。面接時に未経験・能力不足では回答できない具体的質問をする。②毎年業種別賃金等を調べ改定時に反映。業務カテゴリー別及び同カテゴリー内の難易度によるグレード評価制度により社員のキャリアアップを推進する。③内定前に候補者の過去勤務先の履歴・職歴内容や問題の有無を確認するなどの対策が必要です。

アジアビジネス相談デスク

〈お申込み・お問合せ〉

専門アドバイザーによる個別相談室です。お気軽にご利用ください。

本所 アジアビジネス相談デスク（産業振興部内）

TEL 075-212-6442

URL <http://www.kyo.or.jp/management/asiabusiness.html>